

# 成果報告書

## 地域部活動推進事業

担当部署	新潟県 胎内市教育委員会		
所在地	新潟県 胎内市	運営形態	地域連携・合同部活動
運営主体	胎内市教育委員会		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に吹奏楽の演奏団体や連盟等の組織がなく、地域部活動の受け皿が十分でない。</li> <li>・現在のところ市内に吹奏楽を指導できる地域人材がおらず、市外の外部指導者に頼っている現状である。</li> </ul>		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中規模校と小規模校の文化部(吹奏楽部)活動において、外部の指導資源(地域人材の掘り起こし、ICTを活用した遠隔地の人材や教材等)の活用した合同部活動を実施し、地域移行に向けた環境整備を図る。</li> </ul>		
団体・組織等の連携			
拠点校等	胎内市立中条中学校及び胎内市立黒川中学校		
活動場所	胎内市立中条中学校及び胎内市立黒川中学校 音楽室		
活動概要	<p>地域移行に向けた吹奏楽部の合同部活動を、地域人材とICTの効果的な活用を主な内容として実施するとともに、地域移行に向けた検討会議において、課題整理及び、地域の受け皿づくりに向けた検討を行った。</p> <p>①地域人材とICTの効果的な活用 地域の外部指導者、インターネット上のサポート動画(愛知県吹奏楽連盟制作)、県外(埼玉及び千葉)の指導者からのリモート指導(動画のやりとりによる指導)を効果的に組み合わせ、顧問の負担軽減及び地域移行に向けた外部人材との連携体制の構築に取り組んだ。</p> <p>②地域移行に向けた検討会議の開催 学校、保護者、地域等の関係者による検討会議で地域移行に向けての課題整理とその方策について検討した。また、当市にとっての大きな課題である地域移行の受け皿については、検討委員会の方策を受け地域の関係団体と連携した活動を推進した。</p>		

### ○本事業による成果

#### ・顧問の負担軽減

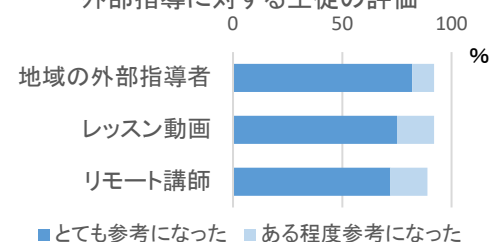
吹奏楽部の指導経験の豊富な中規模校の顧問、経験の少ない小規模校の顧問とも、外部指導者や外部の指導資源が活用できることで部活動指導に係る負担が大幅に軽減した(顧問からの聞き取りより)。こうした成果を、学校教職員だけに頼らない地域のボランティアによる見守り活動などにつなげていきたい。

#### ・質の高い活動の展開

地域の外部指導者がコーディネーターとなり、県内外の指導者を有機的に結び付けてくれたことにより、生徒のニーズに合った質の高い指導が展開できた(生徒アンケートの肯定的評価の割合)。



外部指導に対する生徒の評価



## ○児童・生徒への指導に関する工夫

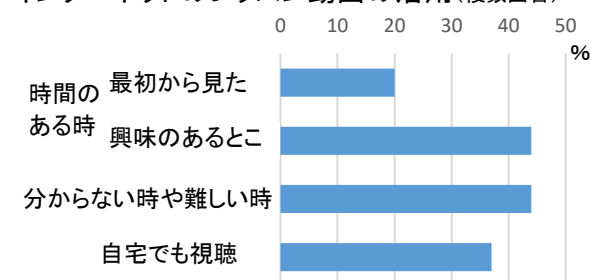
### ・ICTの活用

吹奏楽部の指導は、楽器の種類も多く、顧問がすべてを直接指導することは難しい。本事業では、ICTを活用してインターネット上のサポート動画やリモート講師からのレッスン動画を日常の指導に取り入れることによって、顧問の負担軽減と活動(練習)の質の向上を図った。

### ・主体性や意欲を引き出す工夫

随時視聴できるレッスン動画により、「わからない時や難しい時」に活用したり、「興味のあるところ」を視聴したりする生徒の主体性を引き出した。また、「自分たちで分からないところを動画を見て確認したり、研究したりできる」「音がよくなったと実感している」「プロの音楽家らの指導でやる気が出る」といった意欲を引き出した。

インターネットのレッスン動画の活用(複数回答)



## ○運営上の工夫

### ・地域の公益的な団体との連携

文化活動に積極的な地域の公益的な団体(中条胎内ロータリークラブ)と連携して、次の活動を行った。

#### ①自衛隊音楽隊のコンサートへの参加

団体が主催した自衛隊音楽隊コンサートにおいて、合同演奏、クリニック等も考えたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、鑑賞のみ参加した。

#### ②コンサートでのチャリティ募金を活用した講習会の開催

上記コンサートにおいて、団体が行ったチャリティ募金を市に寄付いただき、それを基に本事業による合同部活動が中核となって、市内小中学生を対象とした吹奏楽講習会を実施した。

### ・外部指導者のネットワーク、コーディネイト力の活用

上記の活動においても、本事業の外部指導の中核となっている地域の指導者のネットワークを活用し、リモートで指導いただいていた県外の指導者の招へい、不足する指導者の県内からの招へいはじめ、講習内容の企画等のコーディネイトを行っていただいた。

<寄付金を活用した講習会>



## ○継続的な運営に関する課題

### ・地域移行の受け皿

当市には吹奏楽関係の音楽団体がなく、地域移行の受け皿づくりが最大の課題である。

具体的には、休日の指導者の確保や指導者を支える活動見守りボランティアの募集など中学生の文化活動を支援していく体制づくりを、地域の公益的な団体等との連携により進めていくことが急務である。

### ・活動場所の確保

吹奏楽部の活動では大型楽器の移動や周囲に気兼ねする心配のない練習場所の確保が課題である。当市の現在の中学校音楽室は、学校開放用の施設とはなっていないため、令和7年夏に学校開放用施設として供用開始される予定の市中心部の小学校音楽室などを活動場所として確保していく必要がある。

### ・運営経費の負担

吹奏楽の活動に伴う指導者謝礼、楽器の購入費や補修費などの運営経費の負担も今後の課題である。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

### <方針>

令和7年度末までに、休日の文化部(吹奏楽部)活動を地域の活動に移行する。

(※現在、当市において休日に部活動を実施しているのは吹奏楽部のみ)

### <計画>

・当面は、現在の地域人材やICTの活用等により、顧問(指導者)の負担軽減をはかり、指導者のみに頼らない体制づくりをすすめ地域移行に結び付ける。

・令和7年夏に供用開始される学校開放型の小学校音楽室を当面の活動場所に想定し、受け皿となる団体や休日の指導者、支援ボランティア等の確保を計画的に行う。

・学校備品となっている楽器の扱いや経費負担など地域移行に伴う課題を整理し、対応を決定する。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	46名(胎内市立中条中学校38名、黒川中学校8名)
	募集方法	合同部活動として吹奏楽部在籍生徒が参加
指導者	人数等	日常指導:吹奏楽部顧問(各学校正副1名ずつ 計4名) 外部指導:地域指導者1名、リモート指導者(県外)2名
	募集方法	地域指導者のネットワークにより依頼
参加者の移動手段		合同練習の場合は市バスや借り上げバス、楽器運搬用トラックを利用
活動費用	指導者謝金等	5,100円/時間
	その他	合同練習のためのバス、楽器運搬トラック借上料:22,500円/回(※令和4年度は中止) 検討委員会委員謝金:5,900円/回
活動財源	会費	合同部活動として実施しているため会費徴収は無し (※部活動保護者会費として年間7,000円(中条中)、5,000円(黒川中))
	その他	・令和4年度地域部活動推進事業委託金 ・生徒会費等からの部活動予算 ・公益的な地域団体からの寄付金
スケジュール	基本活動	原則として平日週4日(2時間程度)、休日週1日(3時間程度)活動
	年間	5月～外部講師の定期的訪問とリモート課題やサポート動画による基礎的練習 6月 リモート講師の課題に対する返信動画送付① 文化庁検討委員会① 8月 リモート講師のアドバイス動画の返信① 10月 (チャリティ募金寄付による合同講習会参加) 12月 リモート講師の課題に対する返信動画送付② 文化庁検討委員会② 1月 リモート講師からのアドバイス動画の返信② 2月 活動報告の作成
保険加入等		合同部活動として実施したため 日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度適用

【活動の様子 (写真添付)】

<地域人材の活用>

【地域の指導者による休日を中心とした定期訪問指導】



> 1学期、2学期に地域の指導者による休日を中心とした定期訪問指導を各校3～4回実施。各学校のレベルに合わせた基礎的指導や合奏指導を行った。

(地域の指導者のコーディネイトによる講習会)



> 10月に行われたチャリティ募金の寄付による合同講習会では、地域指導者のコーディネイトで県内外から3名の講師を迎え、楽器別の講習会を実施した。

## <ICTの活用>

### 日常の活動でのICT活用

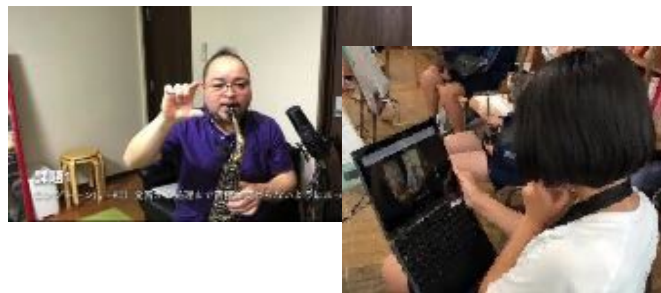
- ・ネット上の動画視聴
- ・リモート講師の課題動画による練習

#### 【インターネット上のサポート動画の活用】 (愛知県吹奏楽連盟制作)



> タブレットなどを使って、日常の活動の中で、基礎練習の教材として活用。リモート講師の課題を練習する際に同じ課題部分を視聴したりして練習する生徒もいた。

#### 【リモート講師からの課題動画の活用】

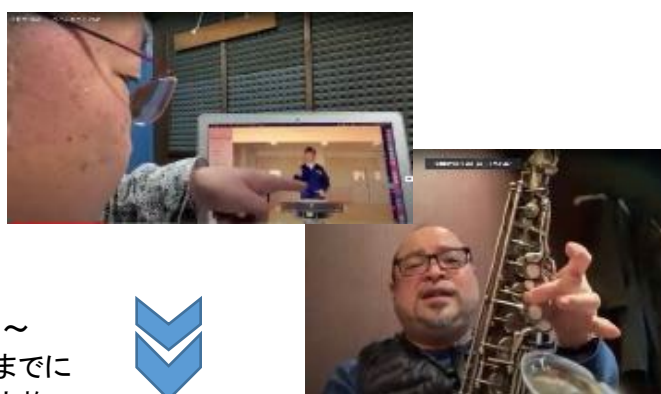


> 昨年度、本事業で作成した課題動画を春先の基礎練習課題として、継続して活用。上級生は同じ課題でも質を上げることに挑戦。

#### 【練習成果を動画に撮影して送付】



#### 【動画を見て、全体や個人にアドバイス動画を返信】



### リモート講師との動画の往復

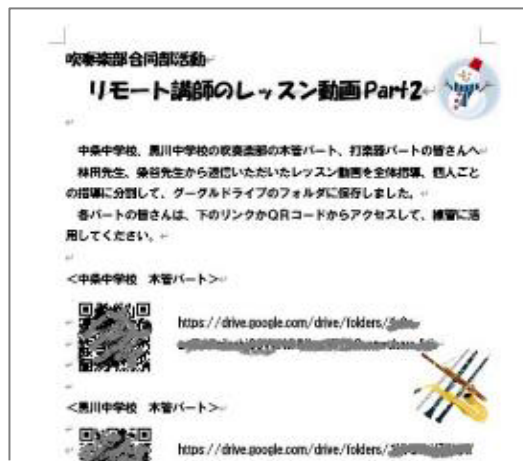
- ・課題に対する練習成果を動画で返信
- ・個人ごとにアドバイスを動画で返信

> 1学期～3学期までに2往復実施。

#### 【繰り返し視聴して練習に活用】



#### 【学校のクラウド上にアドバイス動画を保存】



## <地域の公益的な団体との連携>

### 【地域の公益的な団体が主催したコンサートでのチャリティ募金からの寄付を基にした合同講習会】



> 団体(中条胎内ロータリークラブ)からの寄付を活用した合同練習会では、中条中、黒川中両校の生徒が、パート(楽器)別に分かれ、それぞれ専門の外部講師から対面で指導を受けた。木管と打楽器はこの機会にリモート講師から直接指導を受けることができ、大きな刺激になった。